かしわざき

教育センター・育成センター所報

GALILEI

発表会

新しい教育　柏崎からの発信

インターネット（カラー）版は
「柏崎市教育情報支援システム」
を検索し，トップ画面右上の所報
「GALILEI」をクリックすると閲覧
できます。

平成 23 年 12 月号

柏崎市立教育センター

柏崎市青少年育成センター

12月号 CONTENTS

○ 今月の巻頭言　“Sorry…. Summer is going.”
教育センター運営委員
柏崎小学校長　小林　豊 …… 1

○ 教育センターたより
● アクセス（教育研究班）…… 2
教師としての専門性を高める～専門研修講座の様子から～　スクールオフィス情報　他
●プロジェクト K（教育研究班・科学技術教育）…… 8
研修会・事業の一コマ　おすすめ教材　１月の予定　他
●心の窓（教育相談班）…… 10
子どもを理解する視点　ふれあいルーム陶芸展　他
○ 青少年育成センターだより…… 12
○ 所員随想「つれづれ」　小黒　昌司　池田　恵里子 14
○ １月の行事予定表 …… 15
○ １１月の教育センター参加・利用状況 …… 16

若葉抄

◆今は、情報量が爆発的に増え、満ちあふれ、しかも短期間で新しい知識に取って代わる時代です。また、世の中が急速に変化しているので、学校だけで学んだ知識だけでは、これからの社会は生きていけない時代となりました。人々が生涯にわたって学び続けていくためには、何よりも人生の初期段階で、そのような基本的な態度を身につけさせることが大切となります。

　このような視点で、改めて学校の役割を考えてみると、人生の初期における基礎教育の段階で、「生涯にわたって学び続けるために必要な意欲や態度を育成するところ」となるのではないでしょうか？つまり、「学校は生涯学習の基礎基本を培うところである。」と思うのです。具体的には「基礎的・基本的な学習内容を修得させると共に、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの資質や能力、態度を育成するところである。」といえます。

　ではそのために、小学校段階では何をすればよいのでしょうか？

＊知的好奇心を大切にし、学ぶ喜びを感じさせることにより、自ら学ぶ意欲や態度を育む。
＊「やらされる勉強」から「やる学習」、「覚える学習」から「自ら学ぶ学習」への転換を図る。
ことが大切となります。

　先日、柏崎小学校で「学びをつなげていく子どもを育てる～学びのストーリーを紡ぐ～」という研究主題の教育実践発表会が行われました。また大洲小学校では、「『伝え会う力』を高める子どもの育成～対話を通して学びを深める～」という研究主題で国語の研究発表会がありました。それぞれ研究の進め方には違いがありましたが、私は両校とも「生涯学習の基礎基本を培う」という視点で参観させていただき、新たな学びがありました。また講演の中で市川力先生は「ＩＱの時代は終わった。これからはＴＱ（探究）の時代である。」と述べられ、教育の一つの指針も示していただきました。（ｎｈ）

今月の巻頭言

“Sorry…. Summer is going.”

（あーぁ、夏が終わっちゃう）

教育センター運営委員
柏崎市立柏崎小学校長　　小林　豊

▼「ハァーこういうことだったんだ！」筆者の忘れられない経験。思いがけない形で「概念砕き」がやってきた。英語の授業、幾度となく子どもたちに教えてきた定番「現在進行形：be 動詞 ＋ 動詞-ing」の意味を当の本人が理解していなかったことが判明。つまり、教えた中身に本質が抜け落ちていたのだ。▼ 概念砕きとも言えるリアルな体験の場所は米国ミネソタ。ミネソタは名前の起こりのように多くの美しい湖に恵まれている。時は８月の終わり。ホームスティ先の一家が子どもを連れて湖へピクニック。楽しい団らん。パパ・ママの超家族サービスぶりは、世界共通仕様。お母さん、朝早くからのお弁当づくりに張り切りすぎてちょっと一休み。夏の喧騒を終えた湖を見ながらふっと独り言。“Sorry…. Summer is going.” （あーぁ、夏が終わっちゃう） 新潟と同様、ここミネソタの冬も長く、厳しい。冬の長く厳しい日々の連続を知っている人間には、このつぶやきは、瞬時に聞き手のものとなる。北国の夏の終わりはそうそう長く感傷に浸る時間を与えてくれない。 Summer is going. ため息ともとれる寂しい感情を走らせるには十分な「現在進行形」のパワーを知った。▼「『今、～しています』は『am, are, is ＋ 動詞の -ing 形』で表します」と教科書に記されている。これだけでは、全く不十分だ。「もの(季節)が確実に今、A 地点（夏）から B 地点（次の季節）へとゆっくりと動きを始めている感触・認識」「『もうしばらく今の状況が続きますよ。でもいつまでも続きませんよ。』と、現在とそう遠くない未来の時をとらえる２つの視点が重なる機能をもっていること」「そしてその表現形式には、こうあったらいい、あるいはそうなってもらいたくないという話し手の意図・メッセージが隠されていること」など。つまり、「現在進行形」の表現形式が、ある情景や心情を説明するのに必要な状況があり、その表現形式を生まざるを得ない必然があることを知った。さらに、未来を表現する be going to ～のからくりも見えてきた。▼ この経験は筆者にとって、一つの「概念砕き」となった。英語の先生方からは、そのくらいは常識だとお叱りをいただくことかもしれないが、筆者の理解は浅かった。そして長年、疑いもなく自分が教わったように子どもたちに教えてきた。お恥ずかしい限り。自分のことを棚にあげて、どうだろうか、もう一度、当たり前と考えている／考えてきた学習素材・内容や指導方法に「どうして？」「なぜ？」の素直な問いかけを求めようではないか。異なった視点から見つめ直すことで、今まで見えていなかった「からくり」のうれしい発見があるかも知れない。多くの教え子たちに「すまなかった」と素直に侘びを入れながら、この文を書かせていただいた。

教育研究班だより
No.121　平成 23 年 12 月 21 日
アクセス
柏崎市立教育センター 〒945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-1168

教師としての専門性を高める　～専門研修講座の様子から～

１０月末から１１月中旬に実施した講座の様子についてお伝えします。教師としての専門性の向上に寄与していけるような講座を今後も企画運営できればと考えます。

今回も、講師先生はじめ、受講されたみなさんのお陰で、とても充実した研修を行うことができましたこと改めて感謝申し上げます。

10 月 25 日（火）　学級経営の具体的方法論　　上越教育大学准教授　赤坂　真二　様

■　講座の様子

望ましい人間関係を育成していく学級づくりは、学校教育活動の土台でありとても重要であることは言うまでもありません。今回、上越教育大学から赤坂真二准教授を講師にお迎えして、魅力ある学級づくりのための具体的方法について研修しました。学校における子どもたちの実態や社会的な背景、そして学級内における関係性を向上させていくためのポイントや具体的な手法について、模擬授業的にわかりやすくご教示いただくことで理解を深めました。

■　受講者の感想から

◇すばらしい講座でした。学級へ持ち帰って実践したいと思います。「こだわり」と「気迫」を持って児童とぶつかりたいと思います。「優しくない面白さは支持されない」という言葉が、とても心に残りました。ありがとうございました。

10 月 28 日（金）　園における手のかかる子の支援　　柏崎市立教育センター臨床心理士　矢嶋　郁代

■　講座の様子

今年度から園、小学校の円滑な接続を意識した講座をいくつか設定しています。今回は、当センターの矢嶋郁代臨床心理士を講師に、園における特別支援教育について研修を行いました。発達障害の特性理解や少し気になる子がいたときの見取りと手立ての具体的方策について理解を深めました。

■　受講者の感想から

現在、場面の切り替えが苦手だったり、思い通りにならないと泣き叫ぶことが多い子どもを担当しています。どのように関わっていくのがその子にとって一番生活しやすいのかと考えていました。今回の研修で、具体的な対応の仕方、その子の姿をよく見て情報収集をすることなどを学び、保育の見通しが持てました。また、視覚化を多く取り入れていきたいと思いました。ありがとうございました。

11 月 14 日（月）　子どもの虐待防止講演会　日本社会事業大学名誉教授　山下英三郎　様

■　講座の様子

柏崎市教育委員会子ども課、柏崎市要保護児童対策地域協議会との共催で例年実施している講座です。子どもの虐待防止にかかわる今後の柏崎市の取組の充実や家庭・地域・園・学校の連携に結びつく有意義な講演会でした。

■　受講者の感想から

◇その人が問題ではなく「人と周りの関係がうまくいっていない」ということが大きな問題だとよくわかりました。教育者として、可能性を見出し、寄り添ってかかわれる存在でありたいと思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

◇虐待に限らず、一人の人間として、人とかかわることの大切さや、捉え方、見方の重要性を感じました。保護者とのかかわり方、子どもたちへの接し方の勉強になりました。ありがとうございました。

11 月 22 日（火）　性教育講演会　（財）日本学校保健会事務次長　並木　茂夫　様

■　講座の様子

生き方教育としての性教育が重要となっています。今年度は、日本学校保健会事務次長の並木茂夫様を講師にお迎えして講演会を実施しました。学校における性教育、発達段階に応じた指導のあり方について具体的に研修しました。

■　受講者の感想から

◇世界的な調査で「孤独を感じる子ども」の割合が日本は多いという結果がニュースで報じられていました。行動決定するための考え方とか、家庭の問題が関係しているのだと、今日の講演をお聞きして考えさせられました。

◇薬物、アルコール、性の問題はすべて根っこが同じだと思いました。生徒指導に追われる日々ですが、ライフスキルを学ぶことで子どもたちが変わるかもしれないと、今日の話を聞き、勇気、やる気が湧いてきました。

11 月 24 日（木）　子どもの精神障害の理解と対応　柏崎市立教育センター臨床心理士　小林　東

■　講座の様子

柏崎市立教育センター小林東カウンセラーを講師に、思春期における精神障害を起こす子への対応について、研修を深めました。精神障害の種類と原因、各種の症状、診断、対応のあり方について具体的に提示していただきました。

■　受講者の感想から

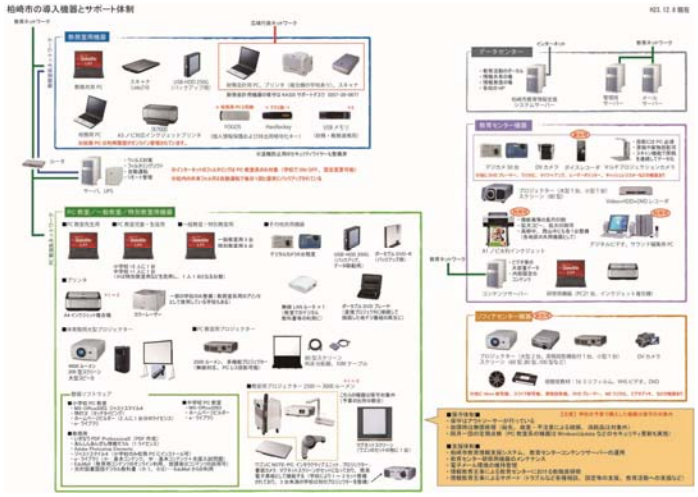
◇養護教諭にとって不可欠な知識だと感じました。小学校には月 1 回定期的にカウンセラーさんが訪問することもないので、医療機関や教育センターへ、どの程度の困り感で、どのようにつなげたらいいかと悩み考えるときがあります。今回の研修では、要医療のラインが示され、とても参考になりました。ありがとうございました。

■ 柏崎教育情報支援システム情報

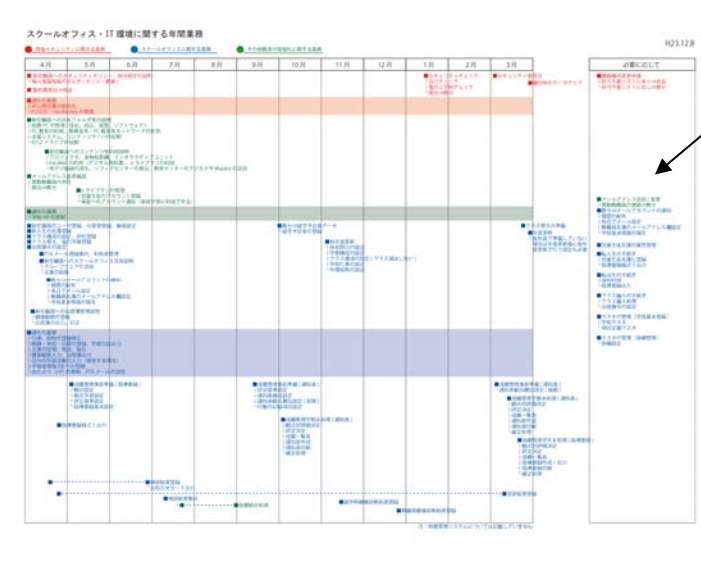
講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名／資料名
12/1	138_**スクールオフィス指導要録作成（設定編）講習** NO21_小学校成績管理設定編.pdf(テキスト第 1.1 版) スクールオフィス成績管理の流れ.pdf（ケース別の処理手順） スクールオフィス成績管理のデータ関連図.pdf （他のサブシステムとの関連性を図で表した資料） H231201 小学校各教科の観点及び趣旨.xls(各学年・教科の観点と趣旨のデータ) 通知表観点サンプル.pdf （通知表の観点欄文字数の違いによる文字サイズ変化のサンプル）
12/8	063_**学校事務研修２（校務の情報化・スクールオフィスにおける事務職員の役割）** 20111208 事務職員研修2.pdf(プレゼン配布資料) IT 環境 23.pdf（柏崎市の導入機器とサポート体制） スクールオフィスの年間業務.pdf(スクールオフィス・IT 環境に関する年間業務) スクールオフィスの QA キーワードマップ.pdf （スクールオフィスのよくある質問とキーワード）

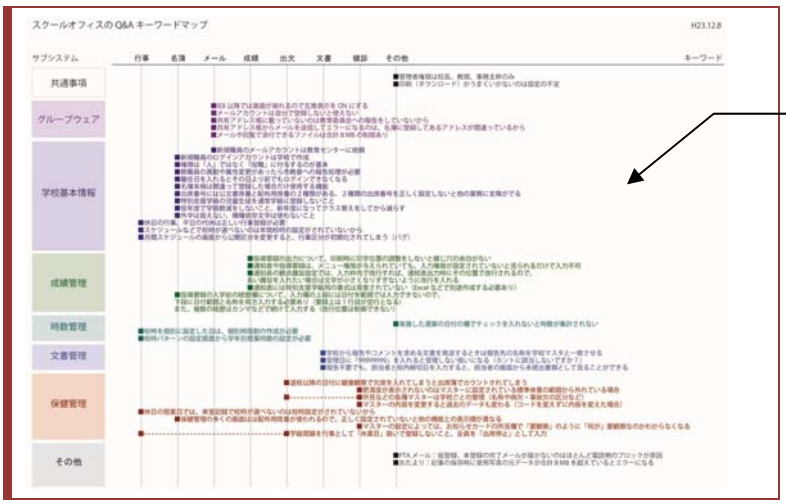
※以下は 12/8 の講座用に作成した資料ですが、より多くの教職員の方々に見ていただきたい内容ですので、ここでご紹介します。



◆IT 環境 23.pdf
柏崎市の導入環境をお知らせする資料です。各学校にどのような IT 機器が整備されているか、教育センターなどにどのような貸出機器が用意されているかを確認いただけます。



◆スクールオフィス年間業務.pdf
年間を通して、いつ頃、どのような手続きや業務が必要になるかを、スクールオフィスを中心に、以下の視点から色分けして整理した資料です。
赤色：情報セキュリティポリシーに関すること
青色：スクールオフィスに関すること
緑色：その他教育の情報化に関すること



◆スクールオフィスの QA キーワードマップ.pdf
スクールオフィスに関してよくお問い合わせいただく内容を、縦軸をサブシステム、横軸を代表的なキーワードにして整理した資料です。

■ スクールオフィス情報

仮年度更新は実施しましたか？

スクールオフィスでは、次年度の準備のために「仮年度更新」機能が用意されています。これは、次年度の行事予定や年間校時などを準備しておく領域を作成するものです。仮年度更新を行わない場合、新年度になってから全ての登録を行わなければなりませんが、仮年度更新を行っておくことで、事前に登録しておくことができます。「年度更新」を実施すると、仮年度に登録しておいた行事などの情報が、自動的に新年度の情報として引き継がれます。

なお、2012 年は春分・秋分の日がずれますので、「旧祝祭日の設定」からマスターの情報を変更する必要があります。各種マスターは学校ごとに管理されていますので、全ての学校が自分の学校のマスターを修正しなければなりません。仮年度更新を行った後で、以下の手順で修正してください。

(1) 仮年度に切り替え、学校基本情報のメニューを表示する

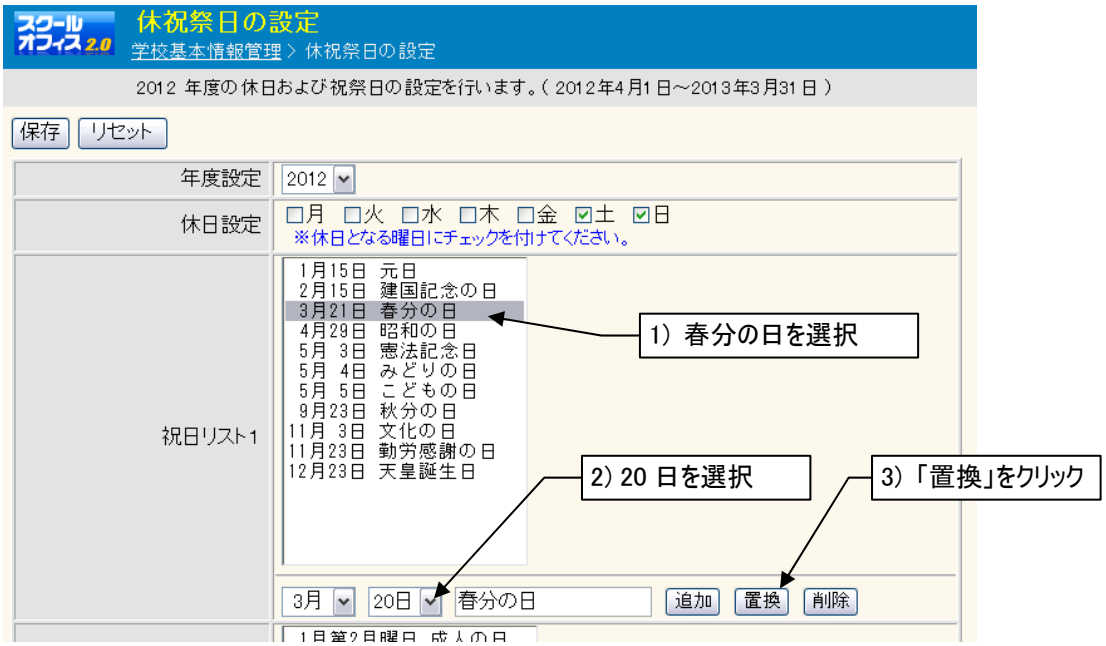
1)「仮 2012 年度」を選択します

2)「学校基本情報」をクリックします

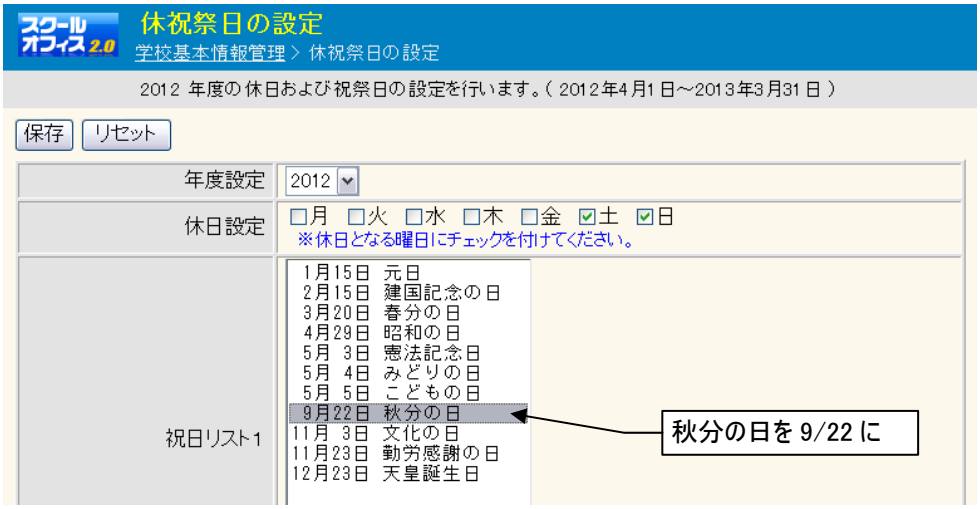
(2)「時間の設定」メニューから「旧祝祭日の設定」を開く

1)「旧祝祭日の設定」をクリックします

(3)「時間の設定」メニューから「旧祝祭日の設定」を開き、春分の日の日付を修正



(4) 同様に、秋分の日の日付を修正



■ 情報関連講習会のご案内

1 月に実施される講習会

◆H24.1.19(木) デジタルアルバム作成入門

デジタルカメラで撮影した画像を使って，CD や DVD にデジタルアルバムとしてまとめる手順について学習します。 この講座では，Windows XP 以降の環境において無償で利用できる「フォトストーリー3」を使って，写真に動きや切り替え効果を与え，BGM などを付加してムービーとして仕上げ，それを CD や DVD に書き込むところまでを扱います。

◆H24.1.24(火) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その8

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。前日までにメールや電話で相談内容をご連絡頂ければ、内容に応じた準備をさせていただきます。

■ セキュリティ情報

セキュリティアップデート情報

マイクロソフトより、12 月 14 日付で 12 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

No.	更新の内容	対象	深刻度
1	MS11-087 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Windows カーネルモード ドライバーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2639417)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	緊急
2	MS11-088 Microsoft Office の脆弱性に対処 Microsoft Office IME (中国語版) の脆弱性により、特権が昇格される (2652016)	Office2010	重要
3	MS11-089 Microsoft Office の脆弱性に対処 Microsoft Office の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2590602)	Office2007/2010 Office for Mac 2011	重要
4	MS11-090 ActiveX の脆弱性に対処 ActiveX の Kill Bit の累積的なセキュリティ更新プログラム (2618451)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	緊急
5	MS11-091 Microsoft Publisher の脆弱性に対処 Microsoft Publisher の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2607702)	Publisher 2003/2007 (Office 2003,2007)	重要
6	MS11-092 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Windows Media の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2648048)	Windows XP/Vista/7	緊急
7	MS11-093 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Vulnerability in OLE Could Allow Remote Code Execution (2624667)	Windows XP, 2003Server	重要
8	MS11-094 Microsoft PowerPoint の脆弱性に対処 Microsoft PowerPoint の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2639142)	Office2007/2010 Office for Mac 2008, 互換機能パックなど	重要
9	MS11-095 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Active Directory の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2640045)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server	重要
10	MS11-096 Microsoft Excel の脆弱性に対処 Microsoft Office の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2590602)	Office2003, Office for Mac 2004	重要
11	MS11-097 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Windows クライアント/サーバー ランタイム サブシステムの脆弱性により、特権が昇格される (2620712)	Windows XP/Vista/7, 2003Server, 2008Server	重要
12	MS11-098 Microsoft Windows の脆弱性に対処 Windows カーネルの脆弱性により、特権が昇格される (2633171)	Windows XP/Vista/7, 2003/2008Server (各々32bit 版のみ)	重要
13	MS11-099 Internet Explorer の脆弱性に対処 Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム (2618444)	IE 6/7/8/9	重要

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く，緊急の対応を要します。

プロジェクト K

平成２３年１２月２１日
(科学技術教育センターだより)

研修会・事業の一コマ　・・・　研修会の様子＆参加者の声など　・・・

○ 小学校５学年「ものの溶け方」（１１月２５日実施）

◇内　　容　シュリーレン現象を観察するときに有効な教具の紹介、食塩やミョウバンを水に溶かすときの留意点について研修を行いました。また、粒子領域（化学分野）で使う実験器具について、知っているようで意外と知らない正しい使い方を確認しました。研修会で使ったシュリーレン観察板のデジタルデータや岩塩はお分けすることができます。お問い合わせください。

○ 小学校６学年「電気の利用」（１２月１４日実施）

◇内　　容　新学習指導要領で新たに加わった単元です。発電・蓄電・電気の変換について学習します。研修会では、必要な電流量の違いを手回し発電機の手ごたえで感じたり、発熱実験を行う際の注意事項について確認したりしました。手回し発電機の規格によって使用する実験器具の調整が必要です。授業を行う前に、学校の手回し発電機の規格や実験器具の規格を確認しておきましょう。

○ 第２９回上越の理科を語る会（１２月４日開催）

◇会　　場　高陽荘
◇講　　演　上越教育大学　谷　友和　様
◇内　　容　講師に上越教育大学の谷友和先生を迎え、「北国の林床植物の生き方を探る」という演題でご講演いただきました。春は雪解けが遅く、夏は木々に日光をさえぎられる環境の中で生きる林床植物の秘密についてお話を聞くことができました。当日は、１００名を越える参加者でにぎわいました。

★紹介します！おススメ教材！

道具の貸し出しや提供を希望される方は、科学技術教育センター(電話２０－０２１２)にご連絡ください。

※センターの教材については、貸し出し期間は原則１週間です。ほかに予約が入っていなければ延長することも可能です（要電話連絡）。

	○省エネルギー比較実験器 白熱電球、蛍光灯、LED 電球を手回し発電機で点灯させてみましょう。白熱電球と LED 電球を点灯させるときの手ごたえの違いを体感できます。１台の手回し発電機で点灯しにくいときは、手回し発電機を直列につないで試してみましょう。LED 電球つきのものは１台、白熱電球、蛍光灯のみのものは２台あります。
	○夢風車２（サイキット社　教材用風力発電機） 弱い風（低速回転）でも LED が点灯する教材用風力発電機です。モーターと赤青双極 LED のキットに風車を取り付けて実験します。羽の回転によりモーターを回すと LED が点灯します。より明るく LED が点灯するよう、羽の材料・形などを工夫してみましょう。２０セットあります。

〇カルメ焼きセット（お玉＋カセットコンロ）

貸し出し回数 No.1 のカルメ焼きセットですが、ちょっと大き目のお玉で作りにくかったのではないかと思います。今回、カルメ焼き用の銅のお玉を６個購入しました。実験用カセットコンロとセットでご利用ください。

〇シュリーレン観察板＋岩塩

シュリーレン現象を観察するには､岩塩と観察版の組み合わせが good！です。岩塩を水に入れると、もやもやが勢いよく落ちていく様子を観察することできますが、容器の後ろに縦じま模様のものを置くだけで、もやもやがより鮮明に観察できます。真っ白でも真っ黒でもダメ、横じま模様でもダメ。縦じま模様の型紙を半分に切ってラミネートをかけるだけで作ることができます。

※１　科学の祭典で使用した岩塩に余裕があります。
※２　縦じま模様の型紙データはセンターにあります。

岩塩・観察板を希望される方は、お問い合わせください。

〇数量補充、実施中！

数量不足で演示実験しかできなかった物品の数量を補充しています。「こんな教材が班の数だけ揃っていると便利だな」という物品がありましたら、お知らせください。

お願い

○ 冬休みに薬品点検を実施しましょう

薬品点検は年に 3 回の実施をお願いしています。長期休みに合わせて実施しましょう。薬品の残量調査をするだけでなく、どの薬品がどのくらい使用されているのかを知ることで、購入計画も立てやすくなります。薬剤師さんのチェック項目の中に GHS（ピクトグラム）表記についても加わってきています。薬品庫の中にいつまでも GHS 表記のついていない薬品が大量にあるのは、不要薬品が大量にある証拠です。こまめにチェックを行い、何年も使用しなかった薬品については廃棄手続きを行いましょう。

※GHS（ピクトグラム）表記とは・・・

化学薬品の危険有害性ごとの各国の分類基準およびラベルや安全データシートの内容を調和させ、世界的に統一したルールとして提供するというものです。GHS で分類･表示される危険有害性としては、爆発性や引火性、急性毒性、発がん性、水生環境有害性などがあり、それぞれに危険有害性の程度に応じたシンボルマーク（絵表示）と、「危険」または「警告」という注意喚起のための表示（注意喚起語）などが決められています。

１月の行事予定（研修会など）

○ おもしろ科学工作

◇日　　時　１月５日（木）　１５：００～１６：４５
◇内　　容　科学の祭典で行った科学工作を中心に紹介します。科学クラブや中学校でのものづくりのネタにお困りの方、ご参加ください。

○ 柏崎刈羽地区教職員理科研究発表会

◇日　　時　１月１３日（金）１３：５０～１６：４０
◇会　　場　教育センター
◇内　　容　研究実践発表　および　講演
◇講　　演　上越教育大学教授　小林辰至　様

平成２３年度　柏崎市立教育センター　　教育相談班だより　１２月号

心の窓

No.１４８

〒945－0833　柏崎市若葉町２－31
TEL　0257(23)4591（代表）
FAX　0257(23)4610

カウンセリングルームから

子どもを理解する視点

私たちは、困難や壁に直面し問題が生じた時に、解決方法が見つかるまで悩み苦しむことになります。どのような問題に対しても、自分一人で解決していけると良いのかもしれませんが、そう簡単に上手くいくことばかりではありません。以前、「人は、一人では歩いてゆけません。生きていくということは、誰かと手をつなぐこと。つないだ手のぬくもりを忘れないでいること―丸山浩路（2001）―」という言葉に出会いました。一人では、限界があり行き詰ってしまうことであっても、誰かと支え合うことで心の温かさを感じることで心の安定が図られます。心が安定することで問題解決をしていくスタートラインに立つことができるのです。

一方、子どもたちもまた日常生活の中で多くの不安や悩み、問題に直面しながら、それに耐え、懸命に生きています。そして、彼らなりに問題解決の糸口を見出そうとする姿が様々な場面で見られます。そのような子どもたちに、私たちはどのような姿勢で彼らに臨めばよいのでしょうか。これは、本当にケースバイケースであり、私自身がその都度考えさせられることでもあります。

かつて不登校を経験した青年が、当時を振り返ったときのことを語ってくれたことがあります。

> 学校には行けず、そうかと言って何となく家にも居たくなくて、１人で家の近くの公園にいた。雨が降ってきたが、家に帰る気にもなれず公園の木の陰で雨を見ていた。心配した母が僕の名前を読んで探しに来てくれた。僕を見つけて、駆け寄り、傘をさし出し、「どうしたの？寒いでしょ？こっちにおいで。あったかいおうちに帰ろう。」と母は言ってくれた。・・・でも、僕の足は動き出せなかった。僕は、母の傘の中に入ることができなかった。
>
> 母の言ったことは、全て正しかった。間違いは一つもなかった。しかし、母の言葉の中には“なぜ、僕がここにいたのか、家に帰れずここにいなければならなかったのか、それを解ってくれる言葉が一つもなかった。僕が母にしてほしかったことは、傘を差し出してくれることではなく、一緒に濡れてくれることだった。”

私たちは、子どもたちの前で常識として正しいこと、理路整然としたことを伝えがちです。しかし、正しい理屈が子どもの心を動かすとは限らないのだと思います。大切なのは、私たちの言葉や態度を子どもたちがどのように受け止めたかの視点で捉えていくことです。この青年が求めていたのは、傘ではなく雨の中にひとりでいなければならなかった“自分の気持ちを解ってくれる存在”だったのかもしれません。

子どもたちには、理屈もさることながら“ありのままの自分（等身大の自分）”を受け止めてくれる存在がとても必要なのです。そのような存在のかかわりこそが、彼らの心の糧になっていることを忘れてはなりません。時には向かい合い目と目を見つめ合いながら、時には隣に並び同じ風景を見ながら、一緒に問題や悩みを味わってくれる存在が必要なのではないでしょうか。

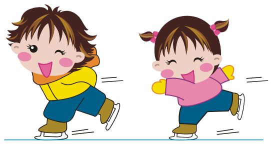
（文責　相談員　松井　理納）

ふれあいルームから

ふれあいルーム陶芸展～小さな芸術家たちの作品展

上下浜の陶芸家石井先生の工房での 3 回の陶芸教室が終わりました。自分で柏崎駅から上下浜駅までの切符を買って電車に乗り、ちょっとした小旅行気分を楽しみながらの陶芸教室でした。1 回目は型作り、2 回目は絵付け、そして 3 回目は窯出しでした。大きな皿や小さな皿、コーヒーカップや一輪挿し、そして通級生の共同作品の素敵な壁飾りなど子どもたちの個性豊かな作品が出来上がりました。教育センターの 1 階ロビーに展示し、来館者の皆様から見ていただきました。例年行っている陶芸教室ですが、年々作品の出来がよくなっているとの評価に、通級生も満足しているようです。来年の陶芸教室には何をつくろうかなと夢を膨らませています。

スケート体験活動



12 月 8 日（木）、アクアパークを貸切で、スケート体験活動を行いました。スケート靴の借用は、係員の方とのやり取りの中でコミュニケーションスキルも学べるということで、カウンターで各自が行うことにしました。例年行っている体験活動だけあって、昨年経験した子どもはさすが、上手に滑っていました。事前に親子や友達同士で練習に行った子どももいます。最初はおっかなびっくりでしたが、後半には手つなぎ鬼などをして楽しみ、みんなが上手に滑れるようになって驚きました。1 月には 2 回目を予定しています。さらに高度な技?を身につけようと今から楽しみにしています。

（文責　ふれあいルーム指導員　渡辺　仁平）

◇◆

教育相談班　1月の予定

≪カウンセリングルーム≫

いろいろ体験グループ（SST）

6日（金）16:30～17:30　小学生Ａグループ
13日（金）16:30～17:30　小学生Bグループ
20日（金）16:30～17:30　小学生Cグループ
26日（木）18:30～20:00　中学生第1グループ
27日（金）18:30～20:00　中学生第2グループ

≪ふれあいルーム≫

10日（火）　後期後半通級開始日
19日（木）　スケート体験
24日（火）　ソフィアセンター
25日（水）　ヨガ教室

育成センター通信

0832

柏崎市青少年育成センター
〒945-0833 柏崎市若葉町２番31号
TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610
ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

１・２月の予定

（１月）

日	曜	こ と が ら
12	木	昼間育生（３班・４班）
27	金	昼間育成（５判・６班）

（２月）

日	曜	こ と が ら
７	火	昼間育成（７班・８班）
22	水	昼間育成（１班・２班）

～秋風に吹かれ　海岸美を満喫～

え　越後柏崎七街道トライウォーク

市青少年健全育成市民会議主催の第２１回越後柏崎七街道トライウォークが去る１０月２日（日）に開催されました。

この日はあいにくの肌寒い１日でしたが、幼児からお年寄りまで家族・友人連れら約２５０人が参加し、例年になく大勢の参加者により大盛況で終了しました。

今回は、北国街道鯨波米山コースで、夕陽のドームを出発し、番神諏訪神社、東の輪・鯨波から恋人岬で折り返し、鬼穴、夕海を経て夕陽のドームに再び戻る約１４キロのコースを歩きました。参加者は、秋風に吹かれ、海岸の美しい自然を楽しみながら、気持ちよい汗を流していました。一人の脱落者もなく全員無事ゴールし、最後に温かいトン汁で疲れた体をそれぞれ癒しておりました。お疲れ様でした。

ドームで開会式

さあ、出発だ

歩くって楽しいな～ぁ

おいしいトン汁サービス

わたしの主張全国大会
第一中学校　西澤望美さん
文部科学大臣賞　おめでとうございます。

去る 11 月１３日、「第 33 回わたしの主張全国大会」（独立行政法人国立青少年教育振興機構主催）が、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、新潟県を代表して出場した第一中学校３年西澤望美さんが文部科学大臣表彰に輝きました。県内では初めての受賞です。

西澤さんは、今夏の地区大会（柏崎・刈羽）、県大会で、最優秀賞に選ばれ、それぞれの大会を経て、テープ審査の関東・甲信越ブロック大会で選ばれ、全国大会に出場しました。今年の全国大会までの応募者数は、約５２万人にのぼります。

全国大会では、４７都道府県から絞り込まれた 12 人が発表し、西澤さんは、「過去と今と未来を生きる」をテーマに、小学４年の時に発病した１型糖尿病と向き合って生きる決意を述べました。自分の思いを込めて堂々と発表され、多くの人に感動を与えました。西澤さんおめでとうございます。

先に行われた柏崎・刈羽地区大会結果　８月１７日　　会場　刈羽村生涯学習センター(ラピカ)

賞	題　名	学校名	学年	氏　名
最優秀賞	過去と今と未来を生きる	第一中学校	３年	西澤 望美
優秀賞	命を見つめて	鏡が沖中学校	３年	松本 紗樹
特別賞	愛する故郷をこの手で守る	高柳中学校	３年	今井 陸人
奨励賞	ボランティアのすすめ	刈羽中学校	１年	猪俣 友花
奨励賞	良き伝統を守るために	北条中学校	３年	笠井 洋史
奨励賞	気持ちの変化	第五中学校	３年	岡村 小雪
奨励賞	「食事」で培うコミュニケーション力	西山中学校	２年	白川 樹里
奨励賞	おばあちゃんと福祉	第二中学校	３年	服部 真美
奨励賞	私と生徒会	松浜中学校	３年	品田 飛鳥
奨励賞	ありがとう、リキ	第三中学校	３年	齋藤 菜那
奨励賞	少しずつ変えていきたいこと	翔洋中等教育学校	２年	品田 春華
奨励賞	私を支えてくれている人のために	瑞穂中学校	２年	須貝 郁美
奨励賞	心を支えるボランティア	南中学校	３年	小関　萌
奨励賞	「当たり前」を考える	東中学校	３年	長谷川千春

ふるさとの山はありがたきかな

所長　小黒　昌司

ここ数年、日本百名山を少し意識して登っている。山の天気は変わりやすく、夏でも３千メートル級の山には雹（ひょう）が降ることもある。だから、天気が良ければ儲けものだと自分に言い聞かせているが、昨年は本当に当たり年で、ほとんどの山行がいい天気だった。特に南アルプスの白峰三山（北岳、間ノ岳、農鳥岳）の縦走はずっと快晴に恵まれ、鳳凰三山や甲斐駒ケ岳、仙丈ケ岳、そして富士山がとても美しかった。

ところが、である。今年ときたら運が悪く、例を挙げると白馬岳も中央アルプス縦走（木曽駒ケ岳、宝剣岳、空木岳）もひどい雨風と霧。まったく陽は射してくれないし、稜線では突風が吹いて体温を奪われるしで、散々な目に遭って帰ってきた。天気が悪けりゃ止めればいいのに、ついつい無理してしまうのが中年登山者のいけないところ。「また今度」がなかなかできない。「山は逃げない」というが、体力はどんどん逃げていくし、スケジュールもなかなか空けられないからである。

それでも、この秋の東北山行は、帳尻を合わせるように天気に恵まれた。途中で眺めた百名山のひとつ、岩手山は本当に山容が素晴らしく、今度はこの山を登りたいと思った。岩手山といえば、石川啄木の「ふるさとの山に向ひいて　言ふことなし　ふるさとの山はありがたきかな」の山である。私にとってふるさとの山、ありがたき山は米山。この冬も、ありがたく米山を登らせてもらうことにしよう。

適当に生きる・・・

教育相談班　指導員　池田恵里子

２０１１年がもうすぐ終わろうとしています。

１２月も半ば、「今年一年は？」と振り返りの時期になりました。

３年ほど前は「これからの人生は自分のために楽しく生きよう！」と決心したものの「いったい私は、何がしたいのだろう・・。」と分からずにいました。そしてそうこうしているうちに、「こんなことに悩んでいる自分が情けない。」とも思っていました。

現在、いや最近やっとわかってきました。「何かしようとするからダメなんだ」と。「楽しい～」「テンションあがる～」「好き～」と感じることを適当に楽しめば良いのだ「誰かのために・・」とか「こうなるために・・」は要らない。「努力は美徳だ」なんて考えない。「自分がしたいかしたくないか・・。　もう自分で自分を縛るのはやめよう・・。」と。

私たちは「適当にやればいいんだ・・。」とよく言います。でも、私のように「自分にあった適当？（良い加減）」が分からずに悩んだり、悩む以前に自分の状態に気が付かない人も世の中にたくさんいるように思えます。だから、気がつけただけ、私は幸せなんだと。そんなことを考えながら２０１１年、幕を降ろすことにします。

２０１１年、出会いたい人にたくさん出会え、いろいろ吸収できました。

今年、私を支えてくださった皆さんに心から感謝です。

平成23年度　月間予定表　1月　柏崎市立教育センター

日	曜	研修・行事・会議	内部事務▼・出張等	関係事業・施設貸出等
1	日	元旦		
2	月			
3	火			
4	水		市長年頭のあいさつ（所長）8:30～9:00	
5	木	科・「おもしろ科学工作」（15：00～16：45）	▼所内会議 13:00	
6	金	相・いろいろ体験G小A(16:30～)		
7	土	冬季休業終了日		
8	日			
9	月	成人の日		
10	火	ふ・後期後半通級開始日		
11	水		キッズサポート（元気館：矢嶋）13:30	
12	木		職員研修会(教育分館：矢嶋）15:30	育・昼間育成（16：00～18：00）
13	金	科・柏刈教職員理科研究発表会 相・いろいろ体験G小B(16:30～)	精神保健研修会（長岡：矢嶋、栗脇）14:30	
14	土			
15	日			
16	月		学校訪問（半田小：笠木）10:30	
17	火			
18	水		らっこクラブ（元気館：矢嶋）9:30 学校訪問（石地小：笠木）10:30	
19	木	情・デジタルアルバム作成入門(13：00～16：45) ふ・スケート教室②	木曜研（精神医療センター：矢嶋）13:30 学校訪問（二田小：笠木）8:30	
20	金	相・いろいろ体験G小C(16:30～)	県地区理セン代表者会議（長岡:中山、酒井）13:30～	「育成座」スタンツ公演　剣野小 14:00～
21	土			市民会議「大集会」市民プラザ 13:00～杉山裕太郎「親子の絆～たった一言で変わった俺の人生」
22	日			
23	月	相・班会議		
24	火	情・疑問やトラブルに答えるフリーQ&A⑧ ふ・ソフィアセンター	定例教育委員会（所長）13:30～	
25	水	ふ・ヨガ教室		
26	木	相・いろいろ体験G中①(18:30～)		
27	金	附属新潟中研究会 相・いろいろ体験G中②(18:30～)		育・昼間育成（16：00～18：00）
28	土			
29	日			
30	月			
31	火			

研・教育研究班　科・科学技術教育　相・教育相談班　ふ・ふれあいルーム　情・情報教育研修
育・育成センター　【　】は未確定の行事・時間

平成23年度　柏崎市立教育センター参加・利用状況

	研修講座・事業名		8月の利用数	9月の利用数	10月の利用数	11月の利用数	H23年度利用合計数
教育研究班	専門研修講座(情報・科学を除く)　＊		17回	7回	2回	8回	57回
			368人	250人	94人	502人	1806人
	共催研修、研修講座		0回	0回	0回	5回	7回
			0人	0人	0人	446人	541人
	調査研究員会,教科研修員会		0回	0回	0回	0回	5回
			0人	0人	0人	0人	31人
	教育情報化研修講座　＊		9回	4回	2回	3回	47回
			97人	14人	1人	9人	348人
	情報教育主事の要請支援等		7回	14回	9回	10回	81回
			35人	128人	46人	28人	724人
	その他の相談・利用・参加数		0回	0回	0回	0回	1回
			0人	0人	0人	0人	22人
	教科書センター利用閲覧数		12人	9人	8人	21人	322人
教育研究班・科学技術教育	理科研修講座　＊		6回	0回	2回	2回	19回
			60人	0人	25人	13人	204人
	学校等の要請研修		1回	1回	1回	2回	17回
			1人	113人	32人	5人	868人
	地域の自然研修・観察会		0回	0回	0回	0回	3回
			0人	0人	0人	0人	53人
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		771人	2,425人	0人	800人	5996人
	理科教育の相談・支援		5件	14件	4件	8件	79件
	理科教材・物品の貸出		7件	10件	10件	14件	57件
	(教職員研修の合計)		61人	2人	28人	18人	260人
教育相談班	カウンセリングルーム来室相談	新規相談件数	21件	19件	15件	14件	181件
		のべ相談件数	89件	104件	83件	82件	619件
	学校訪問相談		6回	11回	7回	10回	79回
	電話相談		1件	2件	1件	4件	14件
	ソーシャルスキルトレーニング		4回	0回	5回	5回	26回
			22人	0人	27人	27人	144人
	ふれあいルーム在籍人数	小学生	7人	7人	7人	8人	42人
		中学生	9人	9人	9人	10人	73人
	ふれあいルーム通級日数		3日	20日	20日	20日	136日
	ふれあいルーム通級のべ人数	小学生	13人	71人	68人	78人	315人
		中学生	14人	86人	88人	94人	605人
	ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)		5人	13人	10人	12人	71人
教育団体，ＰＴＡ，市民等の利用			437人	276人	237人	124人	2087人
教育センター事業の参加・利用総数			**1,959**	**3,532**	**746**	**2,279**	**15,095**

教育センターにおける教職員研修講座 （ ＊ 印の合計 ）	32回	11回	6回	13回	123回
	525人	264人	120人	524人	2,358人

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにもガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造と検証の精神が必要であるという趣旨から情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センター・青少年育成センターの情報とともに、柏崎の教育を広く発信していきます。

所報「GALILEI」　平成２３年１２月末日発行
編集・表紙写真　中山　博迪

「ガリレイ」に関する意見・感想は、下記へ

E-mail　nakayama@kenet.ed.jp

柏崎市立教育センター
ＴＥＬ(代表)　0257-23-4591
ＦＡＸ(代表)　0257-23-4610

教育研究班・情報教育　ＴＥＬ・ＦＡＸ　23-1168
教育研究班(科学技術教育)　ＴＥＬ20-0212　ＦＡＸ 20-0205
教育相談班(カウンセリングルーム)　ＴＥＬ　３２-３３９７
〃　(電話相談)　ＴＥＬ　２２-４１１５
E-mail　k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

柏崎市青少年育成センター
ＴＥＬ(代表)　0257-20-7601
ＦＡＸ(代表)　0257-23-4610

〒 945-0833　新潟県柏崎市若葉町２―31